

2025 年 10 月 8 日

株式会社みずほ銀行

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

株式会社オガワエコノス

プラスチックのサーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みについて ～廃プラスチックのリサイクル高度化による資源循環サプライチェーン構築に挑戦～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）、株式会社オガワエコノス（代表取締役：小川 貴広、以下「オガワエコノス」）は、廃プラスチックのサーキュラーエコノミー実現に向けた第一歩として、高度なリサイクルフローの社会実装に向け連携していきます。

今後〈みずほ〉はオガワエコノスが進める高度再資源化施設整備への支援を通じて、廃棄物選別技術の向上に加え、リサイクル技術の集積によるサプライチェーンの強靱化に挑戦していきます。

1. 背景

世界的に資源不足・制約が顕在化しつつある中、気候変動対応や自然資本の保全への対応も含め、サーキュラーエコノミー社会への転換はグローバルで重要性が高まっています。日本では、第五次循環型社会形成推進基本計画（2024 年 8 月 2 日閣議決定）において、循環経済への移行を国家戦略として明確に位置付けられ、廃プラスチックリサイクルの必要性が訴えられています。今後は環境規制（GHG削減等）や資源制約の観点から様々なリサイクルチェーンの構築による資源自律経済の確立が必要であり、日本として国内資源循環を促進させることが求められています。

こうした状況を踏まえ 2025 年 3 月に〈みずほ〉は、オガワエコノスが実施したケミカルリサイクル技術（接続）の検証、動静脈連携による社会システム構築のための実証（以下「本実証」※）に対するGHG削減算定と金融視点での事業性評価を行いました。その結果、それらの有効性が両立する形で水平リサイクル実現の目処が立ったため、〈みずほ〉とオガワエコノスは廃プラスチックのリサイクル高度化による資源循環サプライチェーン構築を共同で目指します。

※：「令和 6 年度広島県環境・エネルギー産業集積促進補助事業」を活用した実証事業（2024/7～2025/3）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/77/subsidy2022-hojosaitaku.html>

（広島県のウェブサイトへ移動します）

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

2. 実証概要と今後の実施事項

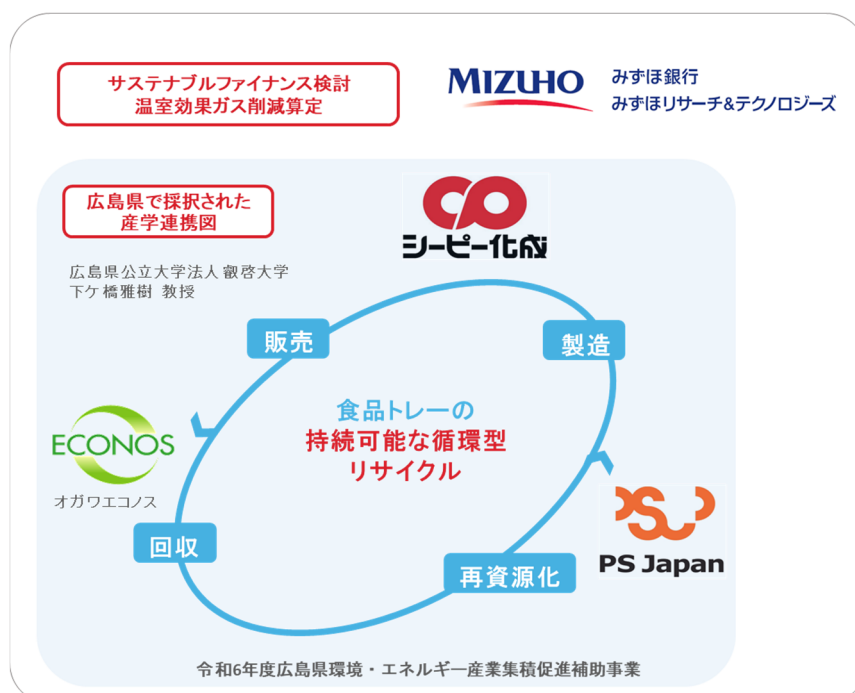
使用済み食品トレーのうち、一部の白色トレーについては店頭回収及びマテリアルリサイクルによる資源循環の取り組みが広まりつつありますが、白色トレー・色付きトレーや透明トレーについては流通後に焼却処理されるか、再商品化された場合でもワンウェイ処理であり、食品トレーに再生される水平リサイクルは非常に少ないのが実状です。

本実証では、オガワエコノスの他に、大手食品トレーメーカーのシーピー化成株式会社、合成樹脂メーカーのPS ジャパン株式会社、更に学識者として下ヶ橋雅樹氏（広島県立公立大学法人観啓大学教授）が連携し、白色トレーだけでなく、色付きトレーや透明トレーも含めた廃食品トレーの水平リサイクルと脱炭素社会への貢献を目指し、PS・PP・PET等のケミカルリサイクル技術（接続）検証、動静脈連携による社会システム構築の実証事業を実施しました。また、みずほリサーチ&テクノロジーズが、廃食品トレーのケミカルリサイクル（モノマー化・油化）に関するGHG削減効果の算定を行いました。

本実証を通じ、脱炭素の観点でもケミカルリサイクルの優位性が認められ、GHG削減と資源循環を両立する形での水平リサイクル実現の目処が立ったため、今般、オガワエコノスは廃プラスチック資源循環を促進する高度再資源化設備の投資を決定しました。これにより、オガワエコノスは、廃プラスチックの選別技術向上に加え、原料や用途に応じケミカルリサイクル・マテリアルリサイクル・サーマルリサイクルへの接続が可能となり、サステナブルな循環型リサイクルシステムを構築していきます。

〈みずほ〉は当該設備投資に対し、サステナブルファイナンスによる支援に加え、資源循環にかかるサプライチェーン構築の支援を検討していきます。

【実証事業連携図】



ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

3. 各社の取り組み概要

〈みずほ〉は、サーキュラーエコノミーをサステナブルビジネスにおける注力領域の一つに据えており、サーキュラーエコノミー産業を創り出す“オーガナイザー”となることを目指し、〈みずほ〉の強みであるリサーチ・コンサルティングやリース等の幅広い機能を活用したつなぐ力を発揮し、動脈と静脈をつなげる資源循環型のサプライチェーン構築に貢献する取り組みを進めます。

みずほ銀行が各種事業会社向けのサステナブルファイナンススキームの構築、みずほリサーチ&テクノロジーズがサーキュラーエコノミーに関する新たなサプライチェーン構築に向けたコンサルティングの提供を検討します。

オガワエコノスは、ケミカルリサイクル接続を成長戦略のひとつに捉えており、回収ネットワークの構築や施設整備を通じて使用者が求める再生材の質と量の確保に努め、事業形態を高度化していきます。食品トレーを何度でも生まれ変わらせる事のできる本実証事業のスキームのみならず、幅広い包装資材や自動車業界等の基幹産業の資源循環も視野に取り組んでいきます。

以 上